

社会政策学会 第146回大会 総会

議案書・資料

日時： 2023年6月3日（土） 17:10~18:10

会場： 立教大学 池袋キャンパス 5号館 5123教室

- 議題： 1) 規程改正について
2) 2022年度活動報告
3) 2022年度決算・監査報告
4) 2023年度活動方針
5) 2023年度予算
6) 社会政策学会賞選考委員会報告
7) 大会若手研究者優秀賞選考委員会報告
8) 会員名簿について
9) 会員区分（会員種別）の再構成と大会参加費について
10) 次回大会開催校からのご挨拶
11) その他

* プログラムに記載した終了時刻から変更があります。

* プログラムに記載した議題一覧から変更があります。9)を加えました。以下、順に昇番。

議題 1) 会則・規程その他の改正について

① 会則 第10条（名誉会員）、第29条（総会の議決事項）、第34条（幹事会の審議決定事項）

・改正の趣旨

学会においても「高齢化」が進むなか、学会に永年貢献してきた会員を優遇する制度を設け、継続的に学会活動を支えるようにする必要があるが、現行の制度では、これを十分満たすことができていない。この状況を改善するため、いままでの「名誉会員」の代わりに、新たに「永年会員」を設けることにしたい。

現行

第10条（名誉会員）

本会は、多年にわたり社会政策学の発展に貢献した研究者を、名誉会員とすることができる。名誉会員は、会員歴が30年以上で年齢満75歳以上の研究者のなかから、幹事会が推

挙し総会が決議する。名誉会員は、学会の役員の義務を負わず会費と大会参加費を免除される。ただし、本会の有料刊行物については、会員への頒価実費を負担するものとする。

第29条（総会の議決事項）総会はずぎの事項を議決する。

（前略）

3. 名誉会員の承認と顧問の任命

（後略）

第34条（幹事会の審議決定事項）幹事会はずぎの事項を審議し決定する。

（前略）

5. 名誉会員の推挙および顧問の指名と再任

（後略）

改正案

第10条（永年会員）

本会は、多年にわたり本会の発展に貢献した会員を、永年会員とすることができる。永年会員は、会員歴が30年以上で年齢満75歳以上を要件とし、その要件を満たす会員を幹事会が確認し、本人の同意を得たうえで、総会に報告することとする。永年会員は、学会の役員の義務を負わず会費と大会参加費を免除される。ただし、本会の有料刊行物については、会員への頒価実費を負担するものとする。

第29条（総会の議決事項）総会はずぎの事項を議決する。

（前略）

3. ~~名誉会員の承認と顧問の任命~~

（後略）

第34条（幹事会の審議決定事項）幹事会はずぎの事項を審議し決定する。

（前略）

5. 永年会員の要件確認および顧問の指名と再任

（後略）

附則 本改正会則は、2023年6月3日から施行する。第10条につき、改正以前に与えられた名誉会員の呼称は、そのまま使うことができるものとする。

改正歴への記載

一部改正 2023 年 6 月 3 日（名誉会員の代わりに永年会員を設けることにし、関連する総会の議決事項と幹事会の審議決定事項を改定、附則の制定）

② 「社会政策学会賞選考委員会規程」に関する細則 2

改正の趣旨

会員の単著出版業績が著しいとき、学会賞選考委員が購入する書籍費が一人あたり 4 万円を超える場合がある。今回もその例があったが、選考委員ご自身が請求額を 4 万で打ち切ってくださったため、超過分は自弁された。

現行

審査に要した書籍の購入費について各委員は各年度 4 万円を上限として請求できる。請求に派経費請求書を用いるが、購入点数は審査終了後に会計担当幹事に報告し、その際に購入書籍の領収書を提出するものとする。

改正案

審査に要した書籍の購入費について各委員は各年度 6 万円を上限として請求できる。請求に派経費請求書を用いるが、購入点数は審査終了後に会計担当幹事に報告し、その際に購入書籍の領収書を提出するものとする。

改正歴への記載

一部改正 2023 年 6 月 3 日（各学会賞選考委員の書籍購入費の上限を 6 万円に引き上げ）

議題 2) 2022 年度活動報告

(1) 現勢報告 2023 年 3 月 31 日現在の会員数：1136 名

(2) 2022 年度の活動報告

2022 年度の活動方針は次のようなものであった。

「コロナ禍の経験を活かしながら、対面の大会開催の可能性を追求するとともに、学会活動のさらなる活性化をはかる。具体的には、①若手への支援、②大会の持続可能な開催・運営、③専門部会の活性化、④地方部会の活性化、⑤学会誌の刊行形態の最適化それぞれについて方向性を検討し、実行可能な事項から実施していく」。

2022 年度は、続くコロナ禍のなか、第 144 回大会は名古屋大学にてオンラインで、第 145 回大会は日本福祉大学にて対面で、充実な内容をもって開催することができた。

各業務分担委員会の支援のもと、学会の日常活動はおおむね正常に進められた。なお、学会活動の活性化のために、社会政策学会誌関連規程を改正し、学会誌のオンライン投稿・査

読システムを導入した。重点的な取り組みについては、以下の通りである。

- ① 若手への支援については、「若手研究者の旅費補助規程」を新設し、若手研究者を大会懇親会に無料で招待する制度も設けた。従来の「研究者育成フォーラム」を進めるほか、新たに「修論フォーラム」を開始した。
- ② 大会の持続可能な開催・運営については、幹事会のなかでアンケート調査を実施し、現状と課題の把握に努めた。
- ③ 専門部会の活性化については、通常の部会の開催のほか、専門部会世話人に対する聞き取り調査を踏まえて、活性化の方策について幹事会にて審議決定し、まずは専門部会の紹介ページを公開し、専門部会への参加を促した。その他の方策については順次実施することにした。
- ④ 地方部会の活性化については、通常の部会の開催のほか、さらなる活性化に向けて検討することにした。
- ⑤ 学会誌の刊行形態の最適化については、2024年度の第16巻より学会誌をオープンアクセス化することにし、ミネルヴァ書房と関連契約を締結することにした。

議題 3) 2022年度決算・監査報告

(次頁)

社会政策学会2022年度決算書(案)

<経常会計>

【収入の部】

項目	①22年度 予算	②22年度 決算(案)	差額 (②-①)	備考
会費収入	10,000,000	9,719,000	△ 281,000	会費納入状況 90.5% (997人/1102人) 名誉会員34名は会費請求なし
大会参加費	850,000	616,700	△ 233,300	144回/オンライン開催(参加費なし) 145回/通常開催(参加費を徴収)
学会誌還元金	650,000	339,714	△ 310,286	学会誌第13巻第2-3号、第14巻第1号
雑収入	70,000	21,330	△ 48,670	学会誌販売・料品
その他入金	0	291,999	291,999	145回大会 広告収入、出版収入、剰余金、開催助成金
当期収入合計	11,570,000	10,985,743	△ 584,257	
前年度繰入金	15,197,027	15,197,027		3%定期預金10,000,000円
収入合計	26,767,027	26,182,770		

【支出の部】

項目	①22年度 予算	②22年度 決算(案)	差額 (①-②)	備考
大会開催費	2,900,000	2,972,092	72,092	144回+145回大会
春季大会	1,000,000	806,718	193,282	オンライン開催
秋季大会	1,500,000	1,740,349	△ 240,349	通常開催
企画委員会活動費等	400,000	324,995	75,005	共通議院報告会委員招集費用・議題ペーパー英文校正、教育セッション関連経費
春季大会企画委員会活動費	200,000	233,675	△ 33,675	
秋季大会企画委員会活動費	200,000	91,320	108,680	
旅費	1,000,000	73,800	926,200	旅費原簿金額変動
学会誌編集費	500,000	22,024	477,976	
学会誌発行費	4,250,000	4,164,305	85,695	学会誌14巻1-3号
学会誌代金	2,880,000	2,880,000	0	学会誌14巻1-3号
編集作業経費	1,000,000	1,141,350	△ 141,350	学会誌編集委員会業務委託、オンライン投稿・査読システム
ネイティブチェック代・謝金等	120,000	71,075	48,925	英文校正
学会誌発送等	50,000	19,580	30,420	宛名ラベル作成
編集委員会活動費	100,000	52,300	47,700	査読謝礼、原稿料
J-STAGE掲載費	100,000	0	100,000	
選挙関連費	0	0	0	
学会賞関係費	610,000	329,939	280,061	
記念品代等	80,000	45,042	34,958	賞状・副賞
審査員図書費等	200,000	23,870	176,130	図書費
旅費	200,000	0	200,000	学会賞関連経費
書籍送料費	80,000	79,200	800	書籍検索システム
若手研究者優秀賞関係	50,000	23,021	26,979	賞状・副賞
過年度経費	0	159,400	△ 159,400	21・21年度書籍検索システム
開催次第関連費	1,000,000	40,000	960,000	分科会報告資料印刷費
広報関連費	700,000	171,922	528,078	
メール配信費	100,000	0	100,000	一斉メール(今年度実績61)
ウェブサイト管理・構築費	300,000	158,062	141,938	学会サイト管理費(日本語版・英語版)
英文ニュースレター関連	300,000	13,860	286,140	JASPS Bulletin No.10
名簿作成費	600,000	27,500	572,500	会員録作成メール印刷費用
内外監事会分担金	160,000	105,000	55,000	日本経済学会連合、社会政策関連学会協議会、日本学術協力財団
本館経費	1,970,000	2,431,729	△ 461,729	
幹事会費	20,000	23,025	△ 3,025	
学会事務委託費	1,500,000	2,056,816	△ 556,816	事務局移管初期費用を含む
ニュースレター制作費	50,000	51,700	△ 1,700	ニュースレターNo.110-113作成費
その他事務経費	400,000	300,189	99,812	請求書発送印刷費、振込手数料等含む
学会活性化経費	600,000	144,000	456,000	研究会育成フォーラム
過年度経費	0	55,000	△ 55,000	145回大会フルペーパー掲載サイト外注
予備費	250,000	0	250,000	
当期支出合計	14,430,000	10,436,875	3,993,125	
次年度繰越金	12,337,027	15,745,895	△ 3,408,868	3%定期預金10,000,000円
合計	26,767,027	26,182,770		

2023年3月31日現在会員数 1,136名

(名誉会員34名、一般会員871名、院生会員115名、海外会員7名、常勤職についていない会員109名)

※2022年度末除名対象13名

社会政策学会2022年度決算書(案)

<特別会計>

【収入の部】

項目	①'22年度 予算	②'22年度 決算(案)	差額 (②-①)	備考
預立金(経常会計からの繰入金)	0	0	0	
利子収入	0	106	106	
当期収入合計	0	106	106	
前年度繰入金	13,222,304	13,222,304	0	
収入合計	13,222,304	13,222,410	106	

【支出の部】

項目	①'22年度 予算	②'22年度 決算(案)	差額 (①-②)	備考
取崩金(経常会計への繰入金)	0	0	0	
当期支出合計	0	0	0	
次年度繰越金	13,222,304	13,222,410	△ 106	
合計	13,222,304	13,222,410	△ 106	

社会政策学会2022年度監査報告書

<財産目録>

2023年3月31日現在会員数 1,136名
 (名誉会員34名、一般会員871名、院生会員115名、海外会員7名、常勤職についていない会員109名)
 ※2022年度未除名対象13名

資産	2023年3月31日現在 (円)
銀行口座1(経常会計 みずほ普通預金)	2,408,267
銀行口座2(特別会計)	13,222,410
銀行口座3(定期預金)	10,000,000
銀行口座4(経常会計 ゆうちょ振替口座)	2,285,354
銀行口座5(経常会計 ゆうちょ総合口座)	1,094,784
合計	29,010,805

負債の部(非払金) 経常会計	27,500	
負債の部(前貸金費) 経常会計	15,000	※2023年度会員
資産の部(未収金) 経常会計	0	
負債の部(非払金) 特別会計	0	
資産の部(未収金) 特別会計	0	
総合計	28,966,305	

上記のとおり相違ありません

2023年 5月 26日

高 宗 航

会計監査の結果、上記のとおり相違ありません

2023年 5月 26日 会計監査

杉田 菜 穂

議題 4) 2023年度活動方針

2022年度の成果をふまえ、2023年度は、次のような方針のもと、活動を進める。

1. 学会の資源を結集して大会を開催し、社会政策研究の意義と魅力について、内外に発信し続ける。
2. 引き続き、若手への支援と若手育成に努める。
3. 専門部会と地方部会の活性化に取り組み、学会の内実を強化する。
4. 学会誌のオープンアクセス化を円滑に進める。

議題 5) 2023年度予算

(次頁)

社会政策学会2023年度予算(案)

<経常会計>

【収入の部】

項目	①'23年度 予算	②'22年度 予算	差額 (①-②)	備考	'22年度 決算(案)
会費収入	9,266,000	10,000,000	△ 734,000		9,718,000
大会参加費	1,300,000	850,000	450,000		616,700
学会誌還元金	300,000	650,000	△ 350,000	近年の実績より	336,714
雑収入	20,000	70,000	△ 50,000	近年の実績より	21,330
その他入金	0	0	0		291,989
当期収入合計	10,886,000	11,570,000	△ 684,000		10,985,743
前年度繰入金	15,745,895	15,197,027	548,868	うち定期預金10,000,000円	15,197,027
収入合計	26,631,895	26,767,027	△ 135,132		26,182,770

【支出の部】

項目	①'23年度 予算	②'22年度 予算	差額(①-②)	備考	'22年度 決算(案)
大会費雑費	2,400,000	2,900,000	500,000		2,872,082
春季大会	1,500,000	1,000,000	500,000	対面開催(2022年度はオンライン)	806,718
秋季大会	1,500,000	1,500,000	0		1,740,349
企画委員会活動費等	400,000	400,000	0	フルペーパー、配布資料印刷、要約筆記	324,995
春季大会企画委員会活動費	200,000	200,000	0		233,675
秋季大会企画委員会活動費	200,000	200,000	0		91,320
旅費	600,000	1,000,000	△ 500,000	旅費取崩金額支給	73,800
御会所鳥費	700,000	500,000	200,000		22,024
学会誌発行費	4,430,000	4,250,000	180,000	学会誌15巻1号・2号・3号	4,164,305
学会誌代金	2,880,000	2,880,000	0	学会誌15巻1号・2号・3号	2,980,000
編集作業経費	1,000,000	1,000,000	0	学会誌編集委員会庶務費	1,141,350
オンライン作業経費	300,000	0	300,000	オンライン投票・査読システム	0
ネイティブチェック代・謝金等	120,000	120,000	0	英文校閲	71,075
学会誌発送等	30,000	50,000	△ 20,000	宛名ラベル作成	19,580
編集委員会活動費	100,000	100,000	0		52,300
J-STAGE登録費	0	100,000	△ 100,000	契約に結び込み済	0
選挙費	200,000	0	200,000		0
学会賞贈報費	710,000	610,000	100,000		329,538
記念品代等	80,000	80,000	0	賞状・副賞	45,042
審査員図書費等	300,000	200,000	100,000	図書費 40,000/人×60,000/人へ増額	23,870
旅費	200,000	200,000	0	学会賞贈報費	0
書籍検索費	80,000	80,000	0		78,200
若手研究者優秀賞関係	50,000	50,000	0		23,021
過年度経費	0	0	0		158,400
顕彰交遊費	1,000,000	1,000,000	0	顕彰費、送迎補助、学会参加費補助等	40,000
広報費	600,000	700,000	△ 100,000		171,922
メール配信費	0	100,000	△ 100,000	廃止	0
ウェブサイト管理・構築費	300,000	300,000	0	月次ホスティング、ドメイン管理	159,082
英文ニュースレター関連費	300,000	300,000	0		13,880
名簿費	70,000	600,000	△ 530,000	会員検索マシール関連費	27,500
内外幹事会分限金	150,000	150,000	0	日本経済学会連合、社会政策院連合会協賛会、日本学術協力財団	105,000
本部経費	1,970,000	1,970,000	0		2,431,729
幹事会費	50,000	20,000	30,000		23,025
学会事務委託費	1,500,000	1,500,000	0		2,058,816
ニュースレター制作費	50,000	50,000	0		51,700
その他事務経費	370,000	400,000	△ 30,000	請求書発行印刷費、届込手数料等含む	300,188
学会活性化経費	1,000,000	500,000	500,000	若手の旅費支援、懇話会招待等、2大会分	144,000
過年度経費	0	0	0		55,000
予備費	250,000	250,000	0		0
当期支出合計	14,980,000	14,430,000	550,000		10,438,875
次年度繰越金	11,851,895	12,337,027	△ 685,132	7%定期預金10,000,000円	15,745,895
合計	26,831,895	26,767,027	△ 135,132		26,182,770

2023年3月31日現在会員数 1,136名

(名誉会員34名、一般会員871名、院生会員115名、海外会員7名、常勤職についていない会員109名)

※2022年度末除名対象13名

社会政策学会2023年度予算(案)

<特別会計>

【収入の部】

項目	①23年度 予算	②22年度 予算	差額 (①-②)	備 考	'22年度 決算(案)
積立金(経常会計からの繰入金)	0	0	0		0
利子収入	0	0	0		106
当期収入合計	0	0	0		106
前年度繰入金	13,222,410	13,222,304	106		13,222,304
収入合計	13,222,410	13,222,304	106		13,222,410

【支出の部】

項目	①23年度 予算	②22年度 予算	差額 (①-②)	備 考	'22年度 決算(案)
取崩金(経常会計への繰入金)	0	0	0		0
	0	0	0		0
	0	0	0		0
当期支出合計	0	0	0		0
次年度繰越金	13,222,410	13,222,304	106		13,222,410
合 計	13,222,410	13,222,304	106		13,222,410

議題 6) 社会政策学会賞選考委員会報告

議題 7) 大会若手研究者優秀賞選考委員会報告

議題 8) 会員名簿について

2023年度より、従来の冊子体の「会員名簿」の作成を止め、「SOLTI会員名簿検索システム」の「会員検索モジュール」をオンライン上の会員名簿として利用する。このモジュールを使うと、会員全体のリストを眺めるほか、適宜検索語を入れることによって特定の会員情報を容易に得ることもできる。そして、従来と違って、会員だけが会員情報にアクセスでき、会員自らの情報更新がリアルタイムに反映されるというメリットもある。費用も大幅に節減できる。

なお、「会員検索モジュール」に公開されたデータは、各年度末にPDF化し、学会の記録として保存する。

議題 9) 会員区分(会員種別)の再構成と大会参加費について

会費の割引と大会参加費の割引の間の一貫性を確保するため、以下の通り、今次総会において確認する。

- ① 会員区分（会員種別）は、「一般会員」／「割引会員」／「外国人会員 A」／「外国人会員 B」／「永年会員」の5種とする。
- ② 「割引会員」とは会費規程第2条の定める「常勤職に就いていない会員」を意味する。
- ③ あらためて明文を定めるまでは「一般会員」の大会参加費は2500円以上とする。「割引会員」、「外国人会員 A」、「外国人会員 B」の大会参加費は1500円以上とする。
- ④ 次回幹事会において、上記を反映した「大会参加費に関する申し合わせ」を申し合わせ、「幹事会了解事項」として記録する。

議題 10) 次回大会開催校からのご挨拶

2023年10月7日、8日（土・日）
立命館大学 衣笠キャンパス（予定）

議題 11) その他